

平成から令和へ ～図書館 30 年のできごと～

5 月 1 日から元号が「令和」となりました。そこで平成元年から 30 年間の図書館を簡単に振り返りたいと思います。紙面の関係で図書館の主なできごとのみを掲載しました。

平成元年度の図書館

蔵書冊数・・・141,066 冊
貸出冊数・・・203,950 冊
累計登録者数・・・18,213 人
予約・リクエスト件数・・・3,650 件
レファレンス件数・・・146 件
→参考調査室・郷土資料室で受けた質問の件数です
複写サービス件数・・・1,787 件 13,918 枚



当時の貸出冊数は 1 人 4 冊までで、利用者が持つ貸出券と本に挟んであるカードを使い貸出を管理していました。古い本の裏見返し部分に、カードポケットがあるのはその名残です。

図書館業務にパソコンを導入する前は「カード目録」を使い本の検索をしていました。「カード目録」とは、カードに書名・著者名・大きさなどの書誌事項を記入したものです。

本 1 冊につき「書名カード」と「分類カード」の 2 枚を作成し、それぞれを五十音順と分類番号順にケースに収め、1 枚 1 枚めくりながらお目当ての本を探しました。

「カード目録」の現物が郷土資料室に保管されていますので、興味のある方はぜひご覧ください。



★ミニ情報★

新元号の「令和」の出典は万葉集ですが、その万葉集には市内の馬来田地区にゆかりのある歌が 3 首収められており、馬来田駅前などに歌碑が建立されています。歌碑を巡りながら、歌が詠まれた時代に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。「武田川コスモスロード（うまくだの路）」として散策も楽しめます。



右の写真は馬来田駅前の碑 揮毫：千代倉桜舟氏
「馬来田の 嶺ろに隠り居 かくだにも 国の遠かば 汝が目ほりせむ」

平成

平成 3 年 増築（現在、文庫がある部分を増築しました）

平成 5 年 コンピュータシステム導入 貸出冊数が 1 人 6 冊へ

平成 13 年 開館時間延長 月曜日の半日開館を 1 日開館へ 水曜日から金曜日を 19 時まで開館時間を延長

平成 14 年 図書館だより 創刊（創刊号から最新号まで 2 階の郷土資料室で閲覧できます）

平成 15 年 貸出冊数が 1 人 10 冊へ

平成 17 年 一部の祝日を開館

平成 19 年 図書館ホームページ開設

平成 20 年 インターネットによる予約サービス開始

平成 25 年 ヨミダス文書館・官報・D1-Law データベース導入

平成 28 年 国立国会図書館デジコレ 図書館間送信館参加



令和



平成 2 年のカウンターの様子
現在は小説の本棚がある場所です

平成 30 年度の図書館

蔵書冊数・・・361,414 冊
貸出冊数・・・404,831 冊
累計登録者数・・・81,155 人
予約・リクエスト件数・・・42,478 件
レファレンス件数・・・634 件
→参考調査室・郷土資料室で受けた質問の件数です
複写サービス件数・・・1,583 件 14,707 枚

平成 10 年頃から、携帯電話やインターネットの普及などにより社会が大きく変わりました。情報に素早くアクセスできるようになる一方で、読書離れや活字離れが問題となってきました。

インターネットによる新聞記事の検索や、国立国会図書館が公開している貴重書の閲覧（デジタルコレクション）など、図書館も技術の進歩のすばらしさを日々実感しています。

しかし、図書館の本質は今も昔も変わりません。先人たちの想いを乗せた本を後世へ繋ぎ、残すこと…。そして、長い歴史の中で受け継いだ本をみなさんへ提供をすること。

時代の変化に対応しつつも、図書館の本質を大切にしていき、みなさんに親しまれる図書館となれるようこれからも歩んでいきたいと思っています。